

## LANDRiV for TCU Ver.2.9.1 アップデート機能一覧

2015 年 8 月 (株)ニコン・トリブル

No.	項目	修正内容
1	測設 【改良項目】	測設実行前にトラックライトを点灯させていた場合、従来は測設測距後にトラックライトを自動的にオフにしておりましたが、これを測距後も継続して点灯するように改良しました。
2	器械設置 【改良項目】	任意点設置・基準軸設置の器械高入力は器械点を記録しない限り入力不要ですが、従来は器械設置開始時に器械高の入力を促す処理になっていました。そこで器械設置完了後、器械点を記録する直前に器械高を入力するようにフローを変更しました。
3	表示カスタマイズ 【改良項目】	基本観測／測設／TS モードの表示項目がカスタマイズできる機能と、ページ毎に表示／非表示の設定機能を追加しました。
4	データ取り込み 【改良項目】	ブレーキが入った SIMA 路線を取り込めるよう改良いたしました。
5	測点検出 【改良項目】	測点検出で観測した座標データを記録出来るよう改良いたしました。
6	TS モード 【改良項目】	ユーティリティ／ハード設定メニューから「TS モード」を呼び出せるよう改良しました。
7	出来形観測 【不具合修整】	出来形観測 確認画面で管理項目を変更できない不具合を修正しました。 (この不具合は Ver2.6.0 から含まれていました)
8		出来形観測 品質証明員で観測したデータを削除することができない不具合を修整しました。 (この不具合は Ver2.6.0 から含まれていました)
9		出来形設計データの断面データ seriesPnt="false" のデータを XML 出力すると componentType が欠落する不具合を修整しました。(この不具合は Ver2.8.0 から含まれていました)
10	器械設置 【不具合修整】	基準軸設置の器械高入力項目が、3 次元項目をチェックしても入力可能にならない不具合を修整しました。 (この不具合は全てのバージョンに含まれていました)
11	基本観測 【不具合修整】	器械設置無しで記録する時、後視点の記録画面が、本来は角度・距離記録画面となるところが座標記録画面になっていました。この不具合により点名インクリメントが正しく行われぬ不具合を修正いたしました。 (この不具合は Ver2.8.0 から含まれていました)
12	線形計算 【不具合修整】	折れ点上に存在する断面の構成点要素座標が理論と異なる不具合を修整いたしました。発生条件は、出来形設計データの断面情報 (XSection.DirectionAngle) が設定され、かつ、対象断面が屈曲部に存在する場合です。 (この不具合は Ver2.8.0 から含まれていました)
13	新機種への対応 【改良項目】	新機種 S5 / S7 / S9 へ対応いたしました。
14	ターゲットタイプ 【改良項目】	新しいターゲット (T-360SL LED Target) に対応いたしました。
15	ターゲットタイプ 【不具合修整】	T360LED ターゲットを以下の機種で計測すると、ターゲット追尾・測距が正しく行えない不具合を修整いたしました。 対象機種: S6(High Precision) / S8(High Precision)
16	器械設置 【不具合修整】	任意点設置にて器械点記録画面に行き、キャンセルした場合に器械点標高が意図しない値になる不具合を修正しました。